

9月の安心かわら版



9月の主な行事

1日 : 防災の日	15日 : 敬老の日
2日 : 宝くじの日	20日 : 空の日
8日 : 白露・中秋の名月	23日 : 秋分の日
9日 : 重陽の節句、救急の日	29日 : クリーニングの日
13日 : 世界法の日	



<取扱代理店>
 阪急阪神保険サービス株式会社
 代表取締役 高尾 雅之

〒530-0017
 大阪市北区角田町8-47
 阪急グランドビル16階
 TEL 06-6232-8897

今月のかわら版 : 1 「台風シーズン」

◆台風の定義

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋(赤道より北で東経180度より西の領域)または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速(10分間平均)がおおよそ17m/s(34ノット、風力8)以上のものを「台風」と呼びます。

◆台風の発生時期

台風は夏に発生するものと思っている方も多いと思いますが、実は一年中発生しています。日本に接近するのが暑くなる7月~9月あたりに多くなるということです。中でも日本への接近は、9月に多くなるイメージがありますが、統計を取ると一番多い月は8月で、次いで9月になっています。台風は平均すると1年間に26~27個発生していますが、一番多かったのは、1967年の39個です。ちなみに日本の南海上は、世界でも最も台風の発生数の多い海域でもあります。

◆台風の特性

台風には「夏台風」と「秋台風」と呼ばれるものがあります。夏台風は動きが遅く、進路の予想が難しいのが特徴です。それは台風を動かす偏西風が、

台風から離れた北を吹いているのが原因です。

秋台風は、夏台風と比較して動きが速いのが特徴です。暑い時期には北にあった偏西風が南へ移動してきて、その風に流されるのが原因です。秋台風は動きが速いため、早めの対策が必要です。また、遅かった台風が急に加速することもありますので、常に最新情報を見ておくようにしましょう。

◆台風の健康への影響

台風や雨などで低気圧になると、めまい・頭痛・眠気などの体調不良になることがあります。これは気圧が急激に変化し、血管が膨張し神経を圧迫してしまうことが一つの要因です。

また、気圧の変化によって「低気圧頭痛」が起きる人もいます。このような頭痛の対処は、まず横になり頭を冷やすことが大事です。この時部屋を暗くしておく、よりリラックスすることができ頭痛が安定していきます。体調管理に気を付けて、やってくる台風を乗り切りましょう。



今月のかわら版 : 2 「敬老の日」

◆敬老の日の起源

兵庫県の一村長が「お年寄りを敬い、お年寄りの経験と知恵を生かした農村作り」を目的に9月15日を「としよりの日」と定めたのがきっかけとなり、小さな村から徐々に全国的に広がりを見せて昭和29年(1954年)には全国的に「としよりの日」として制定されました。しかし、その呼称が適切でないとの理由から昭和39年(1964年)に「敬老の日」と改められ、後に国民の祝日となりました。平成15年(2003年)のハッピーマンデー制度導入により、「敬老の日」は9月の第3月曜日へと変更になりました。同時にそれまでの9月15日は「老人の日」とし、9月15日~1週間を「老人週間」とするよう定められました。

◆敬老の日の由来

由来にはの2つの説があります。
 1つめは「聖徳太子説」で、聖徳太子が大阪に四天王寺を建てた時、ここに四天王にあわせて、敬田院・悲田院・施薬院・療病院の四箇院(しかいん)を設置したといわれています。その内の悲田院というのが今でいう老人ホームのような施設で、この悲田院ができたのが

9月15日であったため、この日が選ばれたというものです。

2つめは「養老の滝説」で、元正天皇が霊亀3年(717年)に養老の滝(岐阜県)へ行幸し、年号を「養老」に改元した故事にちなむというものです。養老の滝は、孝行息子が老いた父に酒を飲ませたいと願ったところ、霊泉から酒がわいたという伝説があるそうです。この故事にもとづき、9月中旬頃に地域のお年寄りを招待して敬老会を開くということが以前から行われており、そこで9月15日を敬老の日と定めたとされています。ただ、この2つの説は俗説といわれ、正しいものかどうかは定かではありません。

「敬老の日」は長年にわたって社会に貢献してきた老人を敬愛し、長寿を祝うこととした国民の休日です。老人を大切に敬う気持ちに変わりはありません。祝日としても定められている「敬老の日」ですから、おじいさんおばあさんとゆっくりお話をしてみたり、プレゼントを贈ってみたり、みなさまそれぞれのコミュニケーションをとってみたいかがですか。